



志をもち夢をかなえる

令和5年3月9日（木）

第31号

文責 校長 空閑宏史

学校教育目標 ふるさと松梅を担う心身共に調和のとれた子どもの育成

「元気な『あいさつ』・「心のこもった『ありがとう』」・「素直な心で『あやまれる』」

◎卒業を控えて

いよいよ明日が卒業証書授与式となります。

小学部6年生の授業日数は、1,191日（昨年度卒業生より3日減）でした。

中学部3年生の授業日数は、中学部で594日、小学部で1,183日、計1,777日（昨年度卒業生と同日数）でした。

松梅校での生活を6年間又は9年間を積み重ねると、ここまで多くの日数になりました。卒業を控えた児童生徒に聞いてみると、「1日1日は長かった気がするけど、6年間だと短かった気がする」「もうすぐ卒業だと思えば、特に時間が過ぎるのが早かった」「松梅校に通えて良かった」等といった声が聞かれました。

学校では、卒業を控えたこの時期に「光陰矢のごとし」という言葉がよく使われますが、まさにこの言葉のとおり感想を児童生徒たちが感じているようです。

卒業していく児童生徒たちは、松梅校で「ふるさと松梅」についても多くの体験を通して様々なことを学びました。学校は、一見同じような生活の繰り返しに見えますが、小学部6年間、中学部3年間、松梅校9年間という区切りで見ると、子どもたちは多種多様なことを学び、人間的にも大きく成長しました。松梅校では、今後も児童生徒の学びと心身の成長を大切にして教育を行ってまいります。

中学部3年生の卒業文集に「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。※」という鴨 長明の「方丈記」の一節を書きました。私が中学3年生を担当したときの最後の学級通信に書いていた内容です。

卒業する児童生徒が、時の連続性と不可逆性を良い意味で感じる人生となることを祈念しています。

※つねに進む川の流れは絶えることなく、しかもそこにあるのは流れていたもとの水ではない。



H26 入学式



H29 入学式



R 2 入学式



3年生を送る会

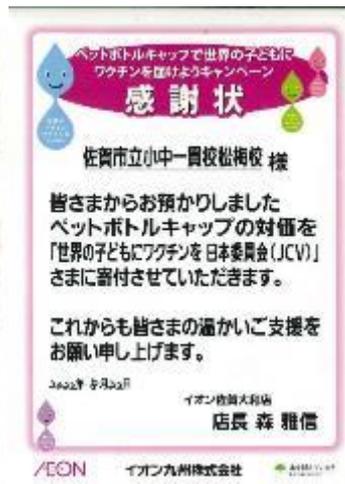
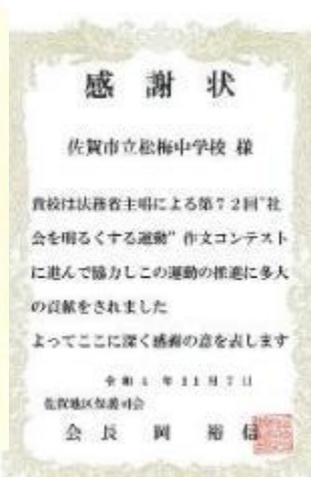
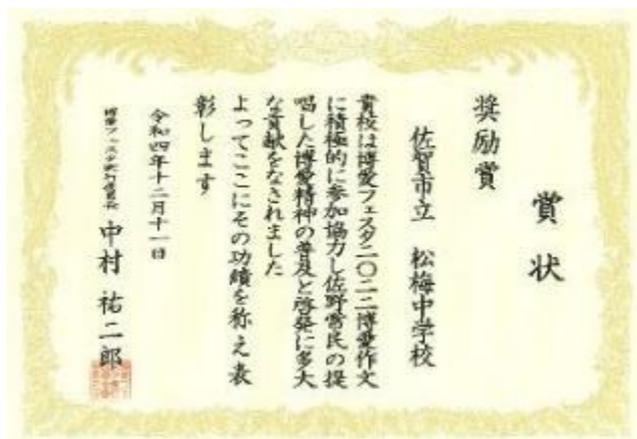


卒業式練習

裏面に続く

◎令和4年度学校表彰

今年度の本校の取組に対し、以下の感謝状と賞状をいただいています。



今年は、3つの団体から人権学習に関する活動を表彰いただきました。

この他にも、6月に弁護士会によるいじめ防止の授業を小学部で行ったり、7月に人権擁護委員表彰を受けたり、10月の大和町少年の主張で最優秀賞をいただいたりと、学校内外での人権について学ぶ・発表する活動が充実した年でした。



学校表彰は、全校での人権学習の取組が土台にあっての事です。松梅校全児童生徒の学習の成果だったと思います。

(児童生徒の皆さんへ)

1年間、学習をよく頑張りました。来年も学び続ける松梅校の児童生徒であって欲しいと思います。



○みにきてん祭～県学童美術展参加作品展

2月20日(月)から3月16日(木)まで、松梅公民館主催の「みにきてん祭」に中学生の作品を期間限定で展示させていただいています。また、校内でも中学3年生や小学部の立体作品も展示しました。このような活動を通して、児童生徒の学習の成果を発表する場の確保と、児童生徒間の鑑賞する力、自分の創造力を高めてまいります。



公民館みにきてん祭

中学部2階

小学部1階校長室前